

台場地域住民の声届く！ 「台場シャトルバス」の運行が平成 29 年 4 月以降も継続と決定！！

「台場シャトルバス運営協議会」が運行する「台場シャトルバス」は、平成 28 年度末までに収支率 100%確保を目指していましたが、平成 27 年度収支率は 67.3%で、平成 29 年度以降の運行継続の条件を達成できないと判断し、平成 28 年度末に「台場シャトルバス運営協議会」を解散し、事業から撤退することを本年 6 月に決定しました。私、ちほぎみき子は「台場地域の生活の足として継続してほしい」との多くのお声を頂き、議会質問を通し、また、地域の皆様と要望書を提出するなどの要望活動を行ってまいりました。平成 29 年 4 月からは新たなスキームで運行が開始されます。



台場シャトルバスの利用状況



台場シャトルバスの利用者数は、平成 24 年度の約 29 万 5 千人から、平成 27 年には約 53 万人と 1.8 倍に増加。港区コミュニティバス乗車券(区民向けの無料乗車券で、主に高齢者、障害者、妊産婦などを対象とする)による利用者は、年間延人数で平成 24 年度の約 3 万 8 千人から平成 27 年度には約 6 万 1 千人に増加し、今では区民生活に密着した移動手段として利用されています。(区は 9 月 1 日から運行事業者をプロポーザル方式により公募)

緊急要望 公共交通機関の安全性の確保を！



視覚障がい者の男性が地下鉄「青山一丁目駅」でホームから転落したという痛ましい事故がありました。また、津久井しらゆり園(障がい者施設)での殺傷事件も発生しました。二度とこのような事がおこらぬよう、港区議団公明党は武井区長に1. 公共交通の安全性を確保2. 港区内の障がい者施設の防犯体制総点検と安全対策強化3. 「心のバリアフリー推進の強化」の3点について緊急要望書を提出しました。区長は「しっかり取り組んでいく」と答えました。